



春夏秋冬

2019
vol.17
季刊発行

eco 情報



「次世代住宅ポイント制度」

2019年10月の消費税率10%への引き上げに備え一定の性能を有する住宅の新築やリフォームに対して様々な商品等とポイントと交換できる制度です。

詳しくは当社にご相談ください!

ワン ジャ 王家 サイカン 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.017 「西紅柿炒蛋」(トマトの卵炒め)

中国では一般的な家庭料理です。暑くて食欲がない時にごはんにも麺にも合います。お試しください。



材料 (3~4人分)

- トマト 2ケ
- 卵 3ケ
- 細ネギ 1本
- 鶏がらスープの素 少々
- 塩 少々

作り方

- 1、トマトを一口サイズに切ります。
- 2、卵を溶き多めの油で炒めます。一度皿に取ります。
- 3、同じフライパンでトマトと小さく切ったネギを炒めます。
- 4、火が通ったら先の卵を入れて軽く和えます。
- 5、塩、調味料で味を調え完成です。

夏の「体感ハウスの歩き方」



室内の温度差

玄関を入ったら床下の収納、階段、2階ホール、小屋裏を一巡して温度差を体で体感してください。

エアコン

2階にある8畳用のエアコンが稼働しています。1台のエアコンで家中をまかなえる仕組みを観てください。

24時間換気

家の中を効率よく換気しているから湿気がよどみません。快適な理由はここにあります。



日除け

夏は日差しを遮るのが一番。オリジナルで作りました自慢の一品です。梅雨明けから活躍します。

床下換気口

冬は閉じて夏は開けています。

小屋裏

屋根の断熱がしっかりしているから小屋裏も室内と同じように利用できます。

イベント情報

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています!

夏の体感フェアー令和元年

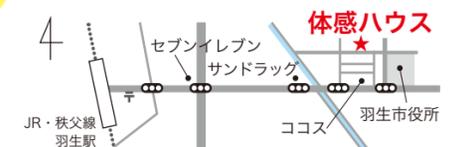
開催日: 8月10日土・11日日
時間: 午前11時から午後4時
会場: 体感ハウス

※参加ご希望の方はご連絡ください!



薬膳料理も用意して待っています。

薬膳料理例



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

三代目通信

就活で、いろいろな会社の説明会に行きクリナップに決めました。4月からの新人研修を経て横浜ショールームに配属になりました。毎日が不慣れなことの連続ですが、先輩に助けられ頑張っています。近くに来ましたら、是非お立ち寄りください。

ソーラーサーキットの家



発行: 有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長: 中田 新一

● web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

report **OB** 訪問

小山建設で建てられた住まいを訪問し、今の住み心地等をうかがいました。

今後より良い家づくりをするためのヒントを見つけたいと思います。



お客様インタビュー「幸手市 N邸」

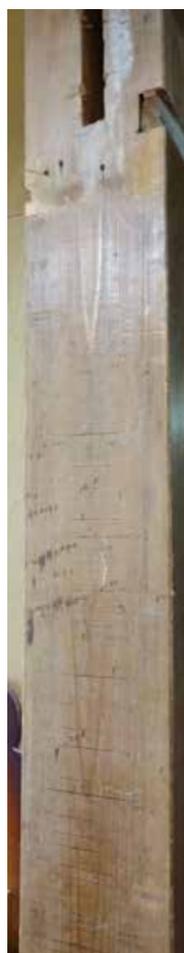


「子育ても一段落したので、早期退職して退職金で家を建て替える」とのことでしたが正直、50代半ばでの大手企業の退職はもったいないと思いました。建て替えのため土地の制約があり小屋裏部屋を造るとなると家の形、間取りが制限されて若者の住まいのようになってしまいましたが、お客様は喜んで受け入れてくれました。

建て替えの時、唯一言われたのが子供の成長を記録した柱を利用してほしいとのこと。邪魔にならないように小屋裏の一角に使わせていただきました。

平成21年竣工し1年半後の平成23年3月に東日本大震災が発生、当時東京電力の仲間たちは給料減額以外にも仕事の内容が一変したり大変だったそうです。

あのまま勤務していたら家は建てられなかったと、おっしゃっていました。人の運を強く感じた体験でした。



地元・羽生市での取り組み

「町内防犯パトロール」

町内役員により春、夏、年末に行われる町内防犯パトロール。夕方6時に相生町公会堂に集まり、駅前交番に向かいパトロール開始を報告。

町内を4班に分かれてパトロール開始、駅前駐車場や路地裏を点検しながら一時間かけて町内一周。

この家は何年も前から空き家だとか、壁が崩れているとかこの家は高齢者の一人暮らしだとか、施設に入って無人だとか、道路が陥没しているから明日には役所に連絡しなくてはとか、街路灯が切れているとか、生活を長年している地元だからこそ気が付くことも多く、地元の絆を感じる瞬間です。



匠の仲間たち

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介します。



▶ file no.017
左官・タイル工事トータス 亀山征志さん

PROFILE
生まれ：昭和30年
出身：新潟県長岡市

創業から5代目。中越と呼ばれる長岡は城下町として栄え左官の仕事が多かった。歴史的には中越は戊辰戦争で街が廃墟に山本五十六の地で理研の軍需工場があり太平洋戦争でも街が廃墟に、そして中越地震でも街は崩壊。そのたびに城下町で職人の質が高かったこともあり甦った。しかし左官の仕事は時代の流れに合わずに激減。34年前、縁あって大宮で左官の仕事が始めたが住むに違和感があり生まれ育った田舎の風景を求めて羽生にたどり着いた。仕事は浦和、大宮、都内の仕事が多かったが10年前から羽生を中心に仕事をシフトしている。一人息子はピアノの調律師なので残りの人生は、いかに楽しく過ごすかが課題。